

## なんだ・かんだ

### ◆ 就職難時代 ◆

若者の就職難が世界的な問題になっています。特に若年層(15~24歳)の失業率が深刻な状況で、日本では8.2%、アメリカでは16.4%。そして輪をかけてひどいのがヨーロッパです。景気好調のドイツ:7.9%・フランス:21.8%・イギリス:21.9%。スペインとギリシャに至っては52.1%と何と二人に一人が失業している計算になります。EU全体でも22.7%にもなるそうですから深刻です。

経済好調のお隣の国韓国は、政府発表では7.6%(15~29歳)ですが、実際は17%近いという統計も出ています。韓国は先進国でも若年層における大卒者率が一番多く、受験戦争も大変な国で有名です。家計の教育費に占める割合は日本の3倍を超え、教育のために引越したり、英語の勉強のために海外へ母子で留学し、夫は国内で一人で黙々と働くということも稀ではないと聞きます。

そして、就活学生のほとんどが「サムスン」を筆頭とした大企業への入社を目指しているようですが、実際に大企業に採用される数は、全採用数の1割程度の狭き門です。「人生の成功=大企業への入社」という画一的な価値観が根強いお国柄です。

さて、日本の8.2%という数字は、20年前と比べると2倍近い数字になるようで、また全世代の失業率の4.5%も大きく上回ります。学校を卒業した人に限ると10人に1人が失業し、4人に1人が職はあっても非正規のパートや派遣社員だそうです。

「博士漂流時代」という本が東大の生協の本屋さんの入口の一番売れる書籍のコーナーに山積みされているそうです。

内容は、【ポストクを経験した博士号取得者の行き先として考えられる大学・研究所の定員は増えていない上、企業等の博士号取得者採用数が極小化の一途をたどっている。現実には、ポストクや博士の就職難。年を重ねた博士号取得者が毎年大量に溢れ、高学歴ワーキングプアともいわれる。一方で将来は科学技術を担う人材が不足するという矛盾をどう解決していくのか。日本にとって、頭脳流出となるが、海外へ職を求める。または、新たな行く先は脱アカデミック(学術・学究)。研究を辞めて、金融やコンサルタント等の道へ進む。】

日本も韓国も、「末は博士か、大臣か」と期待され一生懸命勉強しても報われない時代なんですね。寂しく悲しい時代です。

何が幸せか、何が成功かを考え直す必要があるのかもかもしれません。ブータンの様にGDPではなく、GNH(国民総幸福度)を指標にすべきなのでしょうか。しかし、日本は資本主義経済にどっぷり。今更急に方向転換できません。日本の若者、そして日本の将来が不安です。

先月号で、「何のために働くのか」その答えを見出すには、与えられた仕事を素直に受け入れること。そして、熱意と強い意志を持って、一心不乱に仕事を続けていくこと。という話を書きましたが、働けないことにはどうにもなりません。

私の子供も来年は大学3年生。渦中の人となります。



### ■ 夏期休暇 ■

**夏期休暇: 8月12日(日)~8月15日(水)まで4日間**を夏期休暇とし、会社としてお休みを頂きます。尚、11日(土)と16日(木)は、会社は営業をしますが、社員は交代で半数がお休みさせていただきます

各メーカーの工場の夏休みも様々です。お客様の生産に支障を来さぬように対応していくつもりですが、万一の場合もごさいますので、直接生産に関わる製品につきましては、生産計画をご確認の上、弊社担当とお話ししていただいて、対応をお願い申し上げます。

ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます



### 梅雨明けして

今年も異常気象が続きます。西日本、特に九州では梅雨の間に豪雨が続き、年の平均降水量の倍近い雨が降ったようです。12日からの九州北部は豪雨で、各地で河川の氾濫や土砂崩れなどの被害が続く。熊本、大分、福岡の3県では特に大変だったようです。更にお隣の中国でも長江で、世界最大級の三峡ダムが完成して以来最大規模の洪水が発生しトヨタなど物流に影響があったということです。

ここ数年当地域でも、台風や大型低気圧の通過後に、屋根の破損や雨漏りに対する補修で大変多くのお問い合わせを頂きます。このほとんどが損害保険対応となるのですが、これがまたやっかいで、お客様は早くやりたい。でも保険の審査が下りなければ金額が確定しない。など、トラブルの元にもなっています。いずれにしても、災害の仕事ばかりではつまらないですよ。お客様はやりたくてやるわけではないので、仕事に対する思いが違います。「仕方がないからやる」のですから。そんな中梅雨が明ける頃から、ありがたいことに個人住宅のリフォームの受注が続いています。ご用命いただきました。すべての工事において、お客様の期待を上回る、満足のいく施工に努めたいと思います。

代表取締役 服部 肇 一郎

### チキリについて⑨

#### ● 切削剤 ●

塗装の一連の工程の中で「洗浄」という工程があります。被塗物に油や異物が付着したままだと塗料が密着しないため、塗装前に「洗浄」をします。当社も塗料販売をしている中で、この「洗浄剤」を扱っているわけですが、この洗浄剤メーカーで、製品ラインナップとして「切削剤」を製造している会社が多いのです。油を使って金属加工をした後に塗装をするので、加工後に付着した自社の切削剤を洗い流す必要がある為の様です。

こんな経緯から当社でも20年ほど前から「切削剤」を販売するようになりました。

切削剤は金属を加工する時に、刃物と加工物との間に発生する熱を冷まし、加工の精度を上げたり、刃物のもち(耐久性)を長くするために使用されます。古くは油が使われていましたが、最近は作業環境の改善や安全性(火災)の観点から、水溶性の切削剤が主流となってきています。

販売量が増えたのは、ここ7~8年。「株式会社ネオス」さんというメーカーさんの担当者が、元気でやる気のある優秀な方で、当社の営業マンと力を合わせ、新しいお客様を次々と開拓し売上を伸ばしていきました。やはりモノを売るためには、メーカーさんの絶大なる協力が不可欠です。

商売は出会いと、タイミングですね。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思えます。次回からの発送を中止させていただきます。N

・ 株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com

URL <http://www.chikiri.com/>